



Gluegent Gate

セキュリティに対する取り組み

データ保管国

Gluegent Gateのデータは、日本国内に保管されます。

データの保全とバックアップ

Gluegent Gateでお預かりしている情報は、冗長化されたストレージに保存されます。また、ストレージ内の情報は、定期的にバックアップされ一定期間保存されます。

クロックの同期

Gluegent Gateは、NIST Internet time serviceを使って時刻を同期されます。

技術的脆弱性の管理

Gluegent Gateが稼働する環境(OS、ミドルウェア、ライブラリ)に脆弱性が発見された場合は、速やかに適切な更新、修正を行い、リリースします。

Gluegent Gateのアプリケーションは、定期的な自動テストを実施し、脆弱性がないことが確認されます。

暗号化

全ての通信は、SSLにより暗号化されます。

記録の保護

安全な運用のため、システムのログは、外部には公開していません。また、情報の改ざんができないように保護されます。



セキュリティに配慮した開発方針

Gluegent Gateは、自動テストおよび、開発者以外の担当者による手動でのテストを行い、既存機能への影響や安全性を確認します。Gluegent Gateの検証は、サービス環境とは、分離された環境で実施されます。